

# ③ 江戸時代隆盛を極めた目黒不動 散策ガイド

2024年3月28日 kumagai

催行日：2024年4月17日（水） 集合：東急目黒線 不動前駅入口辺り

行程：不動前駅（集合：東急目黒線）⇒ かむろ坂通り ⇒ ①目黒不動（瀧泉寺）⇒ ②タコと成就院 ⇒ ③五百羅漢寺（拝観料 500 円）⇒ ④海福寺 ⇒ ⑤青木昆陽の墓 ⇒ ⑥幡竜寺（解散：最寄り駅 東急目黒線不動前駅 地図の 山手通り ■■■■■ を進む）  
 オプション：大円寺と行人坂へ \*C 班は、⑥幡竜寺の手前で解散

中川駅 8:34 発～センター北 8:40 発（グリーンライン）～日吉 8:59 発（目黒線各駅） 不動前 9:20 着  
 中川駅 8:44 発～センター北 8:46 発（グリーンライン）～日吉 9:09 発（目黒線各駅） 不動前 9:30 着

- ④海福寺
- ⑤青木昆陽の墓
- ⑥幡竜寺
- 解散：最寄り駅 目黒不動駅



OP：大円寺と行人坂  
 最寄り駅：目黒駅へ

目黒駅



かむろ坂  
 通り



スタート：目黒線不動前駅

③五百羅漢寺

②タコの成就院

① 目黒不動

今回のコースは1ページの地図の **緑**のラインです。オプションコースは、**オレンジ**色のライン。400メートル四方に密集しており、歩く距離は短いですが、一寺一寺、見どころがあり、あっという間に時間が経ちます。グループ内で見学時間を申し合わせしましょう。

東急目黒線**不動前**駅から緩いかむろ坂を上り、かむろ坂上の交差点を右折し道なり行くと、  
 ①**目黒不動**（瀧泉寺・トイレ）⇒ ②**タコの成就院**⇒ ③**五百羅漢寺** ⇒ ④**海福寺**（トイレ）  
 ⇒ ⑤**青木昆陽の墓** ⇒ ⑥**幡竜寺**のコースです。（解散：最寄り駅は不動駅）  
 時間や体力に余力のある方は、**オプション：大円寺と行人坂**へ（最寄り駅は目黒駅）

### ① 目黒不動へ

東急目黒線不動駅前から、かむろ坂通りに出ます。不動前駅を出て道なりに5分ぐらい行くと、交差点です。右側に牛丼の松屋があります。その交差点を左折し、緩い上り坂のかむろ坂通りを進みます。途中左側に小学校があり、そばの児童公園前パネル表示に「江戸時代鳥取藩の平井権八と遊女小柴について」が書かれています。かむろ坂通りを上り切ったところが、かむろ坂上の交差点です。かむろ坂の言われが刻まれたガイド板がたっています。かむろ坂上の交差点を右折し、道なりに緩い坂を下っていくと、途中に参道入口を示す柱がたっており、そのまま進むと小さな交差点があります。その交差点を直進すると目黒不動（瀧泉寺）の山門です。水かけ不動明王像、大日如来坐像、青木昆陽の像などがあります。



東急目黒線 不動前駅



かむろ坂通りの交差点



かむろ坂上の交差点



江戸時代  
鳥取藩の平井  
権八と遊女  
小柴に関  
わる  
言い伝え



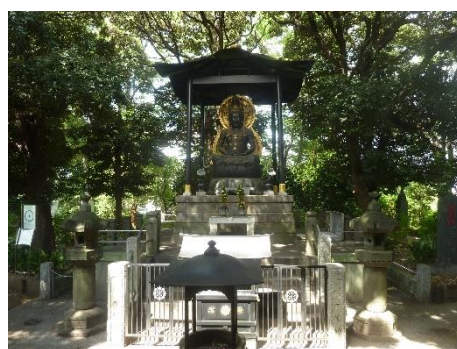
目黒不動参道の入口の柱



目黒不動の山門



水かけ不動明王



本堂の裏に大日如来坐像



青木昆陽のサツマイモ畑

## ② タコの成就院へ

目黒不動の山門を出て直進し、交差点を左折します。5分ぐらいで右側に成就院が見えます。平安2年（858）慈覚大師の開山で、本尊は、薬師如来像です。俗に蛸薬師と言われ、疫病除けの仏として人々にあがめられています。絵馬には、ガン闘病など願いが書かれていました。



目黒不動の山門出てすぐの交差点



タコと成就院の入口



ありがたい福をすいよせる

## ③ 五百羅漢寺へ

幡竜寺を出て右折し山手通りを100メートル程進み、案内板の交差点を右折し五百羅漢へ。（拝観料65歳以上400円 拝観は自由です。拝観されない方は、ここで解散です。山手通りを五百羅漢方面に右折せずに、そのまま道なりに進み、かむろ坂交差点を右折し不動駅へ。または、オプションの大円寺へ、山手通りを越えて目黒駅方面へ）

五百羅漢の入口には、五百羅漢の一つ 不退法尊者の像が迎えてくれます。

（苦しさに負けず、いつも心明るく、最善を尽くす）

五百羅漢寺は、元禄8年（1695）鉄眼禅師が本所で開山しました。明治41年（1908）現在の目黒に移されました。釈迦三尊像と五百羅漢像305体が安置されています。

五百羅漢像の一つ一つに言葉があります。（一期一会の言葉もありました。）



五百羅漢寺入口の不退法尊者像 五百羅漢像（パンフレット引用） 原爆の碑（新劇のさくら隊）

## ④ 海福寺へ

タコの成就院を出て、道路を左に進むと左側に五百羅漢寺が見えますが、そのまま進みます。海福寺の入口です。海福寺の石の大きな表札と提灯が目印です。そこから、15メートルぐらい進むと山門です。

中国の明から来た黄檗宗、隠元隆崎が万治元年（1658）に創建し明治43年（1910）この地に移りました。西欧・シルクロードのデザインを取り入れた墓地の壁画などがあります。



海福寺の入口



文化4年永代橋崩落供養塔



開祖 明の隠元隆崎、黄檗宗から大胆な西欧の様式を取り入れている墓地。

## ⑤ 青木昆陽の墓へ

青木昆陽の墓は、海福寺の墓地を抜けたところにあります。

海福寺の本堂裏の通路を通り、墓地を上に向かい、錠の掛かっていない門扉を抜け、右側に10メートルぐらいのところに青木昆陽の墓があります。

青木昆陽は、江戸時代中期の儒学者です。名奉行大岡越前の知遇を得て、幕府の図書管理や収集などを行う書物奉行の要職に就きました。京保17年(1732)に畿内以西を襲った京保の飢饉の惨状を見た昆陽は、「蕃諸考(ばんしょこう)」を著し、多くの農民にさつまいもの栽培方法を教えました。



海福寺の墓地側の門扉



青木昆陽の墓



甘諸先生(サツマイモ)  
甘諸流転して天下して  
飢うる人無しからむ  
是が予が願ひなり

## ⑥ 幡竜寺へ

青木昆陽の墓を正面に見て右側の細い道を降ります。突き当たりを左折し20メートルぐらいで幡竜寺の入口が見えます。そこに入って15メートルぐらいで幡竜寺の山門です。

江戸時代中期、江戸では大地震や火事が相次ぎ、人々は不安の渦中にありました。そこで霊雲上人は、江戸の裏鬼門を守る岩屋の弁財天を供養するのがよいと考え、宝永6年(1709)行人坂の称明院を、この地に移し「霊雲山称明院幡龍寺」と改名し再建しました。



青木昆陽の墓から右側下る



幡竜寺の入口



幡竜寺のおしろい地蔵

オプション、大円寺と行人坂は、幡竜寺から山手通りを越え目黒駅方面の右側にあります。



大円寺 入口



大円寺の石仏群



金箔の釈迦如来像



雅叙園お七の井戸

\*大円寺に向かう途中に目黒雅叙園があります。入口にお七の井戸があります。  
(八百屋お七、江戸時代恋人に合いたさに自宅に放火して死罪になった。  
歌舞伎や落語、映画などで物語られています。)